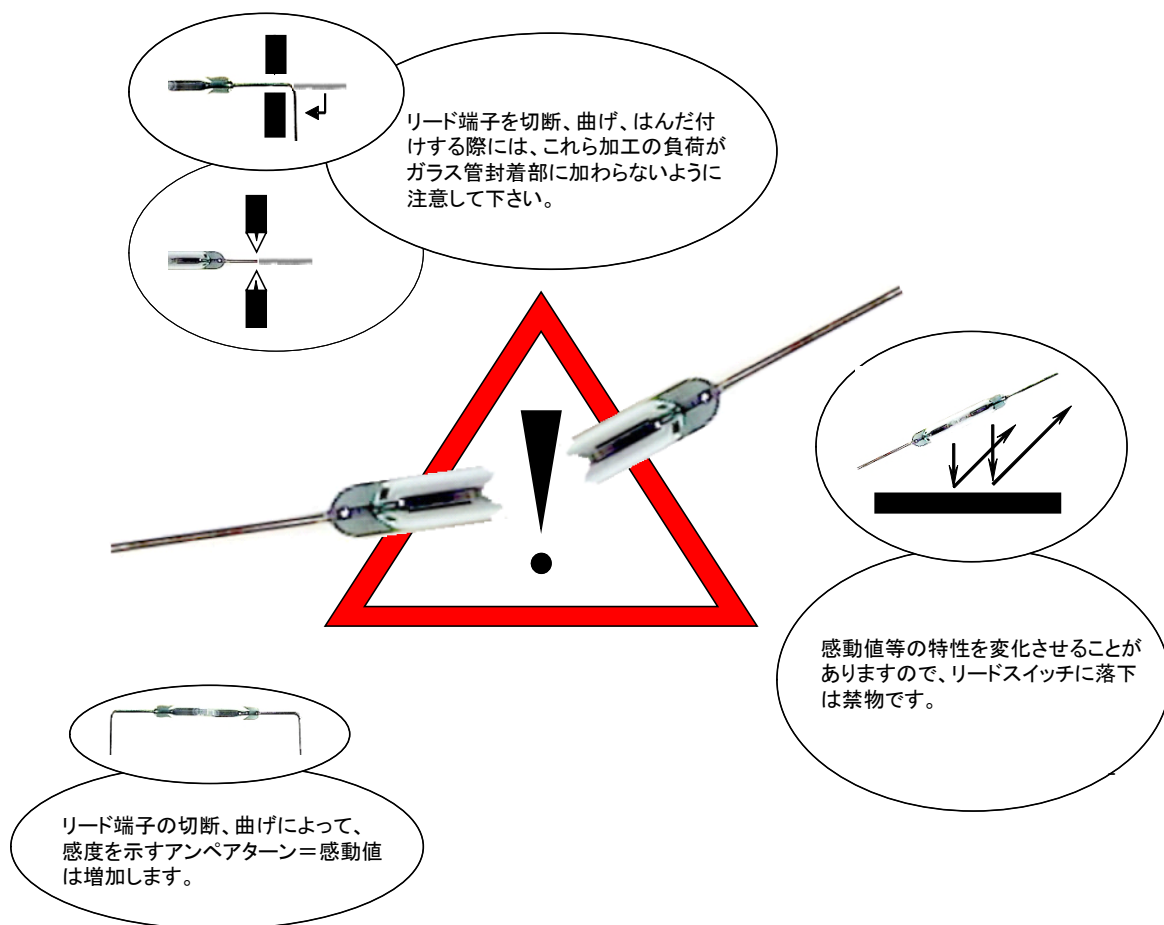


1. リードスイッチを使用するにあたっては、リード端子の切断、曲げ、はんだ付け等の加工を行うのが一般的ですが、ガラス管封着部を保護するためこれらの加工はリード端子を固定して行う必要があります。
2. リードスイッチを実装する際には、ガラス管封着部が無傷であっても、リード端子を介して強い負荷が加わると感度に変化することがあります。実装する際には、リード端子に力が加わらないように注意して下さい。
3. 落下による衝撃はリードスイッチの感度を変化させることがあります。リードスイッチを用いる製品の製造工程や輸送時には、衝撃による感度変化がないように確認して下さい。



ご不明な点は弊社へお気軽にお尋ねください。